

新ひだか町立桜丘小学校

【総合的な学習の時間、社会、家庭】

■ 地域の農家の方の協力による稲作体験活動

★活動に関連する目指す子ども像

「様々な事象に関心を持ち、意欲的に学習する子ども」

「他人をいたわり思いやるとともに、感謝の心をもつ子ども」

□ 活動の概要



児童が地域の農家の方の思いや苦勞を聞いたり、実際に作業を体験したりすることを通して、地域の産業に関心を持ち、問題解決に主体的、創造的、協働的に取り組む態度を育てることをねらいとして、第5学年の総合的な学習の時間に稲作体験を実施しました。

□ 活動の具体

- ・地域の稲作農家の方と連携し、「田植え」「成長の観察」「稲刈り」「脱穀」など、米の栽培から収穫までの農業体験を行っています。
- ・農業体験では、田植定規や千歯こきなど、昔の農具を使い、稲作の歴史や苦勞などについて学ぶ活動を行っています。
- ・収穫後は、育てた米を炊き、試食会を行うとともに、活動のまとめについて発表しています。

□ 教育課程上の工夫

- ・社会科「米づくりのさかんな地域」と関連付けて学習し、食料生産について、学習内容の理解を深められるよう工夫しています。
- ・家庭科「ご飯とみそしるは食事の基本」と関連付けて調理実習などを行い、食事の喜びや楽しさについて理解を深められるよう工夫しています。